

# たんちょう通信

～ 第 91 号 ～



丹羽孝直

こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつも「たんちょう通信」をお読みくださり、誠にありがとうございます。先日、入社2年目の山田社員から嬉しい報告がありました。菰野町にお住いの谷村様から、以前山田社員がガスの点検で訪問した際に、「たんちょう隊公式LINE」に登録していただいたことが、谷村様のお役に立ったと言った内容でした。数日前の晩、突然、「ガスコンロの火」が付かなくなったそうです。谷村様は直ぐに丹頂ガスへ問い合わせようと思ったが、夜も遅かったので、ためらっていた時に、山田社員に勧められた「たんちょう隊公式LINE」のことを思い出した。そのLINEには、「お困りごと解決」のメニューがあるので、一度試してみることにした。最初は「コンロが点かない」のボタンを押したが解決しない。少し戸惑いながらも、色々とボタンを押しているうちに、「すべてのガス機器が使えない。」という項目があった。ひよっとしたら、ガス給湯器も使えないのではないかなと思って、お湯の蛇口を捻ってみると、案の定「お湯にならない。」どうも、ガスメーターでガスが遮断されているようだった。外のプロパンボンベのところにあるガスメーターを見ると「赤のランプ」が点滅していて、メーター遮断の表示が出ていた。そして、スマホに表示されている通りに「復帰ボタン」を押してみたら、1分間後にガスが復帰した。「主に夏から冬にかけての使用量の増加によって起こる遮断です。異常はございませんので、ご安心ください。」との説明文もついていた。「たんちょう隊の公式LINE」の案内に沿って問題を解決して、その夜からガスが使えるようになった。「手元にガス器具の辞書があるようで心強い」と仰って頂きました。この一件があってから遊ぶように色々なボタンを押されたそうです。後日、谷村様のご友人(多分、他社のガスをお使いになられている。)と電話をしている際に、そのご友人の家でガスが点かなくなったそうです。どうもガスファンヒーターを長時間お使いなられたそうです。そこで、谷村様はその様子を電話口で聞きながら「たんちょう隊公式LINE」を見て、電話越しでそのご友人に「ガスの復帰方法」をお伝えしていただきました。今回の出来事が「お客様のお役立ち」に繋がったことに、とても誇りをもって私に報告をしてきました。「たんちょう隊公式LINE」は、ちょうど一年前に、当時入社したての中村社員が、駆使して独自に作ったものです。最近では、老若男女がスマホを使い、LINEもしています。SNSを活用して「お客様サービス」に役立つことは、時代の変化でもあり、必要不可欠になってきました。先日の大雪の際も、「お湯がでない、水が凍結した」とのお問い合わせが沢山ありました。その時も、LINEを通じて解決方法を発信いたしました。これからももっと多くの方に「たんちょう隊公式LINE」に登録していただいて、お客様サービスの向上に努めて参りたいと思います。今回は、若手社員の活躍ぶりを一つご紹介させていただきます。これからも引き続きよろしくお願ひ申し上げます。感謝

山田社員

お困りごと解決メニュー

給湯器凍結時の解決方法をご案内



<p>全てのガス機器が使えない</p>	<p>ガスコンロの不具合</p>	<p>お湯・リモコンの不具合</p>
<p>ガスの臭いがしたら</p>	<p>電気・水回り</p>	<p>地震が起こったら</p>

水道管が凍結してお湯がでないときは、バルブがついている管(給水配管)に、ぬるま湯をゆっくりとかけてください。

熱湯をかけると配管が破裂する恐れがあり大変危険です。必ず「ぬるま湯」をかけるようにしてください。

「給湯器の根元」にかけると効果的です







たんちょう隊の公式LINEはこちら!



住まいのちょっとしたお困りごとの解決方法をお知らせしています。



公式Instagramはこちら!

たんちょう隊の活動や日常の様子を投稿しています。フォローをお願いします!



TANCHOCAS



はろぐち みき  
原口 未来

皆様こんにちは。入社2年目の原口未来です。

昨年20歳になった私は、1月9日(日)に四日市ドームで行われた成人式に参加しました。振袖は、私の伯母の成人式から代々受け継ぎ、私で6代目となるものでした。昔から着られている振袖ですが、丁寧に保管されていて、汚れもなく銀色を基調とした綺麗な振袖だったので、私も着るのをすごく楽しみにしていました。式に向かう道中、私の振袖姿を祖父母に

見せたくて、祖父母の家に立ち寄りました。祖母は私の姿を見て、目に涙を浮かばせながらとても喜んでくれました。私も祖母が喜んでいてくれる姿を見てとても嬉しくなりました。式が行われるドームに着くと、もう既に沢山の晴れ姿の子がいました。皆さんすごく綺麗になっていて、中学校を卒業してから一度も会っていない子にも沢山会うことが出来ました。すごく久しぶりに会って、「私の事覚えてる?」笑から始まる子や、「あーほー!」と話しかけてくれる子がいて、皆と中学校時代の懐かしい話で盛り上がったのが楽しくて、終始笑顔の絶えない日でした!とても良い思い出が残る成人式でした。

今回で私の話は最後になります。いつも最後までお読み頂きありがとうございます。



防災  
コーナー

## 共助について



南海トラフ巨大地震をはじめとする大災害が起こったら、皆が総力をあげなければ乗り切ることができません。自分や家族だけが助けられればいいということではなく、まわりの人と協力し、ひとりでも多くの人を助けること(共助)で震災の被害を軽減することができます。

### 迷わず協力を頼む

### 助け合うための知恵

### 応急救護の必要性



倒れている人に声をかけて反応がなかった場合は、大声で「誰か来て下さい!人が倒れています!」と近くの人に協力を依頼します。付近にAEDがあれば持ってきてもらうようお願いをします。



柱や梁などに挟まれた人を発見したら、周囲の人にも声をかけて協力して助けます。意識があるかどうか確認し、圧かけも重要。自動車に積んであるジャッキなども活用できる場合があります。



大災害時は負傷者が多くなりますが、道路が通行困難になり、救急車の到着が遅れ、救出活動が間に合わないことも考えられます。軽いケガなどの処置法を身につけておきましょう。